

環境活動レポート



2023年 3月 31日 発行

社会医療法人社団 愛有会
久米川病院・介護老人保健施設久米川

2022年度
(R4.4.1~R5.3.31)



事務長
武田 嘉朗



総務課
野村 和男



総務課
永尾 伸忠



総務課
柴田 覚

社会医療法人社団 愛有会 環境理念

病院・施設は医療・介護を提供する一方で、多量の水やエネルギーを使用すると共に、多量の一般廃棄物・感染性廃棄物を排出するなど、環境に多くの負担をかけています。

このことから、私たちが環境・資源保全に取り組むのは社会的義務と考えなければなりません。

社会医療法人社団 愛有会では、環境・資源保全のために永続的な取り組みを行っていきます。

久米川病院・介護老人保健施設久米川 環境方針

久米川病院・介護老人保健施設久米川では、環境・資源の保全に取り組むために下記のとおり環境方針を定めます。

1. 環境マネジメントシステムに基づき環境保全活動を推進すると共に、目的・目標を定め定期的に見直し、継続的改善を図ります。
2. 診療材料等の適正使用と廃棄物の減量を重点的に推進します。
3. エネルギー使用量の適正管理・効率的運転に努め、二酸化炭素排出量を削減します。
4. 持続的発展が可能な社会にとって生物多様性が重要な基盤であることを認識し、自然生態系に配慮して、社会や自然と調和した事業活動を行います。
5. 災害拠点連携病院として災害時の広域的被害、物流の途絶、被害の長期化を想定した設備・機能を生かし地域に生活する人々に安心と安全を提供します。
6. 本活動を通じて病院の医療・介護の質向上を推進します。
7. プラスチックに係る資源循環の促進等の円滑な実施を図ります。
8. 環境方針は、全職員に周知すると共に、各自が役割を自覚して行動出来る様、教育を行い環境に関する意識の向上に努めます。

2022年4月1日改定

久米川病院 院長

阿部 真也



久米川病院 事業概要

運営法人	社会医療法人社団 愛有会	
事業所名	久米川病院・介護老人保健施設久米川	
代表者	理事長・院長・施設長 阿部 真也	
所在地	東京都東村山市本町四丁目 7 番地 1 4	
電話	042-393-5511	
ファックス	042-393-5585	
URL	http://www.kumegawa-hosp.jp/	
環境管理責任者	院長 阿部 真也	
環境管理副責任者	事務長 武田 嘉朗	
事業内容・規模	医療・介護サービス	
	事業活動期間	4月～翌年3月
	診療科目	消化器内科・循環器内科・糖尿病内科・内分泌内科・代謝内科・内視鏡内科・整形外科・呼吸器外科・乳腺外科・リハビリテーション科・肛門外科・泌尿器科・皮膚科・放射線科・眼科
	病床数	久米川病院：地域包括病棟 40 床 老健久米川：ユニット型 60 床 従来型 20 床
	従業員数	約 224 名
	敷地面積	3540.77 m ²
	建築面積	2044.24 m ²
	延床面積	8302.33 m ²
	建物概要	地下 1 階・地上 4 階・塔屋 1 階

※事業活動の詳細資料はホームページ(www.aiyukai.jp)にてご覧頂けます。

2022 年度活動計画の主な内容

項目	継続・新規	環境活動計画
省エネルギーの推進 (CO ₂ 削減)	継続	照明の時間消灯、廊下照明の間引き。
	継続	空調設定温度の適正化。(夏期 28℃、冬期 20℃)
	継続	温水洗浄便座の節電設定。
	継続	OA機器の待機電力の削減。
	継続	フロア毎に電気・ガス・水道使用量の見える化をして適正使用を促す。
	継続	中央制御盤による空調機の効率的なスケジュール運転。
	継続	コージェネレーションシステムによる計画的な発電。(発電量 255,500kw/年)
	継続	太陽光パネルによる発電。(発電量 12,000kwh/年)
	新規	空調機の分解洗浄による節電対策。
廃棄物の削減 及びリサイクルの推進	継続	固形燃料化を推進するため、紙類・プラ系ゴミの分別を徹底する。
	継続	品質の高いオムツ交換、あて方を考え、実施していく。
	継続	施設・備品などには高品質の製品を使用し長期間使用を可能にする。
	継続	三大合併症による感染性廃棄物量の低減。
	継続	診療材料等の適正使用による廃棄物の減量。
	継続	フードロスの低減。(2021 年度比▲3% (485kg))
	継続	IT 活用によるペーパーレス化の推進。(2021 年度比 60,000 枚増加)
	新規	不要となったクリアファイルの再利用
	継続	診療材料のプラスチックごみのリサイクル。
	新規	新型コロナウイルス感染症感染防止。
水道量の削減 (節水)	継続	蛇口はこまめに閉める。
	継続	節水システムの定期的なメンテナンスの実施。(1回/年)
	継続	井戸水を利用した散水。
ガス使用量の削減	継続	給湯量、火力の調整を随時行う。
	継続	給湯器の給湯温度の緩和。(65℃→60℃)
	継続	コージェネレーションシステムの排熱利用による給湯。
化学物質使用量の削減	継続	シャンプー・ボディソープの個人持ち。
	継続	洗い場の洗剤種類変更と減量。
その他	継続	事業活動に伴う備品はグリーン購入を行う。
	継続	5S運動の実施。(特に、整理=不用なものを撤去する 整頓=作業しやすいように材料や環境を調える)
	継続	廃棄物の適正処理、減量化とリサイクルの推進。安全性・信頼性の向上、
	継続	プラスチック容器異物除去。(食品や残渣付着の紙ごみ、金属、ガラス等)

環境目標

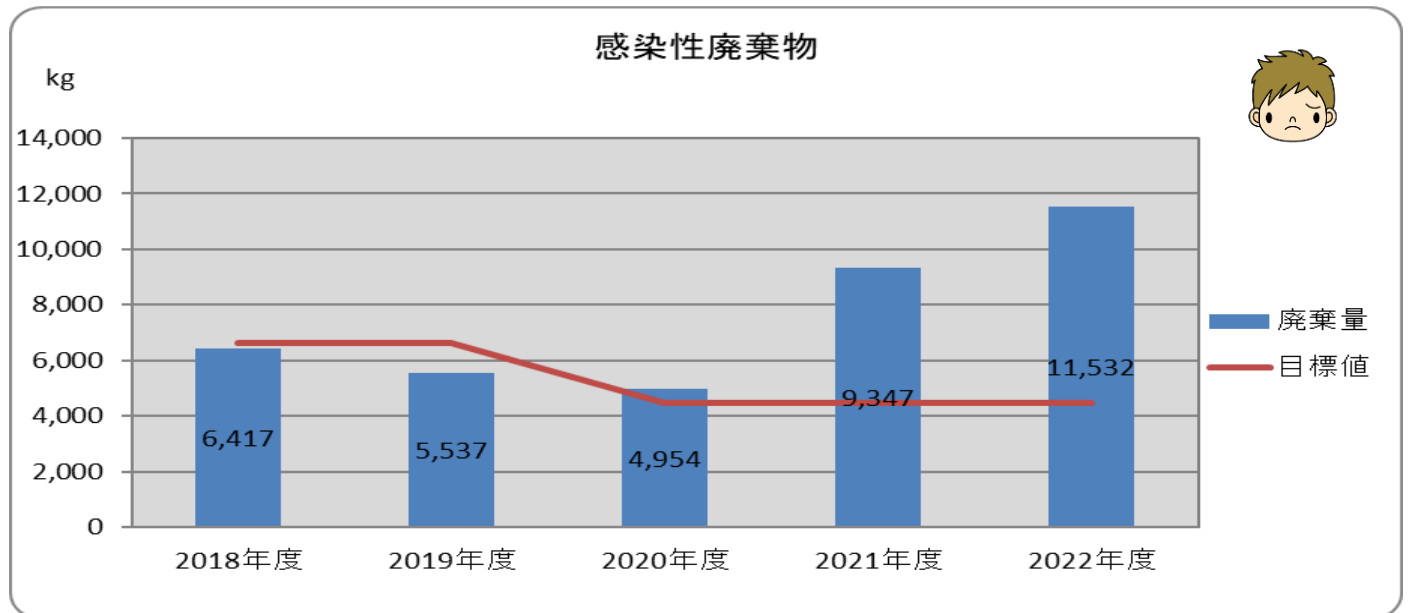
項目	内容		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
感染性 廃棄物 (kg)	削減	目標値	▲10.0%	▲14.0%	▲13.7%	▲10.5%	▲18.9%
		実績値	▲3.0%	▲13.7%	▲10.5%	88.7%	23.4%
非感染性 廃棄物 (kg)	削減	目標値	▲1.0%	▲3.0%	▲9.9%	▲10.6%	▲4.3%
		実績値	2.8%	9.9%	▲10.6%	▲4.3%	▲3.3%
化学物質 使用量 (kg)	削減	目標値	▲1.0%	▲11.1%	▲11.1%	▲25.0%	▲20.0%
		実績値	▲11.1%	0%	25.0%	20.0%	▲16.6%
電気 使用量 (kwh)	削減	目標値	▲5.0%	▲1.2%	▲5.0%	▲9.6%	▲5.0%
		実績値	0.6%	27.1%	9.6%	▲20.6%	▲3.3%
ガス 使用量 (m ³)	削減	目標値	▲5.0%	▲5.0%	▲5.0%	▲1.0%	▲0.5%
		実績値	▲17.6%	154.3%	653.8%	0.5%	▲0.2%
ガソリン 使用量 (L)	削減	目標値	▲65%	▲35.2%	▲33.4%	▲64.3%	▲89.2%
		実績値	▲35.2%	▲33.4%	▲64.3%	▲89.2%	207.1%
CO2 排出量 (kg)	削減 (電力・ガス、 化石燃料)	目標値	▲1.0%	▲1.0%	▲1.0%	▲1.0%	▲1.0%
		実績値	11.3%	76.8%	176%	142.7%	▲8.6%
上水 使用量 (m ³)	節水	目標値	▲5.0%	▲5.0%	▲5.0%	▲13.0%	▲12.1%
		実績値	5.8%	20.7%	21.4%	▲12.1%	▲8.6%

化学物質使用量は、家庭で使用しているようなもの、微量なものは対象とせず、P R T R法に該当するものを対象としました。

環境目標と実績

■ 感染性廃棄物 (目標値：三大合併症による感染性廃棄物の減量により、前年度比▲10%とする)

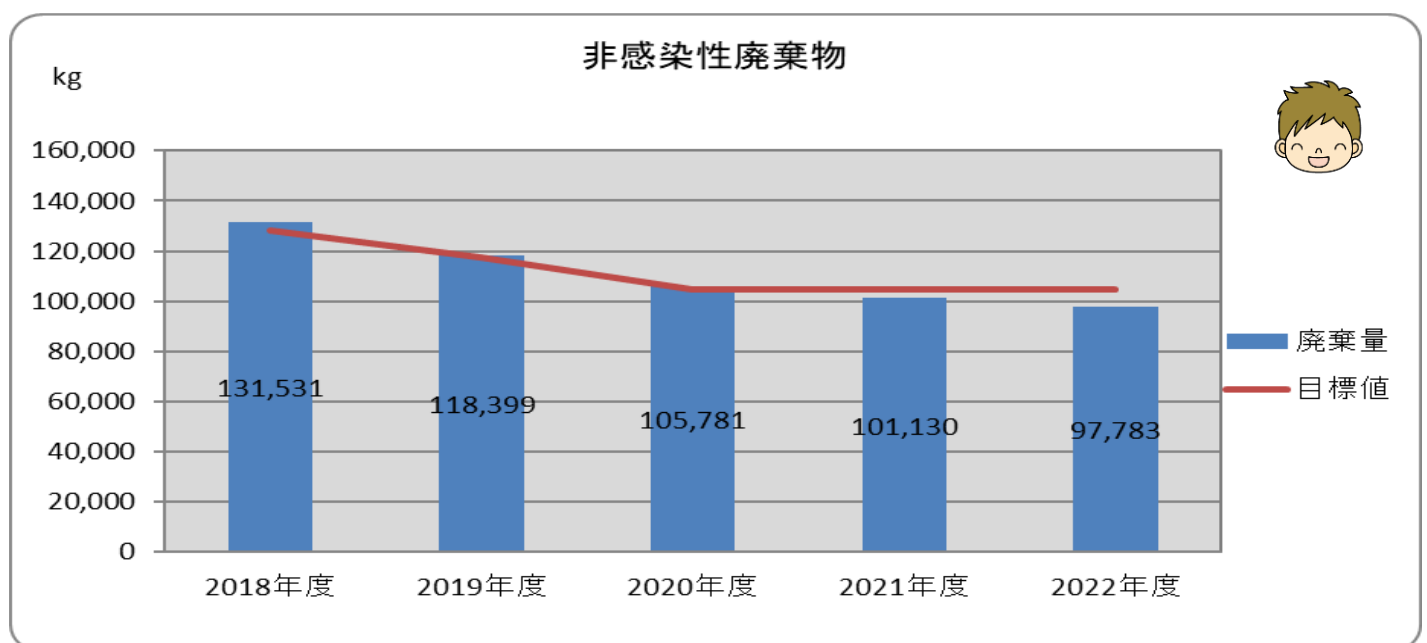
項目	目標値	実績値					2022年結果
		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	対前年比值
感染性廃棄物 (kg)	4,459	6,417	5,537	4,954	9,347	11,532	23.4%



2022年度廃棄量が増加した原因は、新型コロナウイルス感染症患者増加によるもの。

■ 非感染性廃棄物 (目標値：紙類、プラスチックゴミの分別を徹底及び、オムツ使用量が適正かつ効率的であるかを検証し、品質の高い交換やあて方を実施する事で基準年度比▲1%とする。)

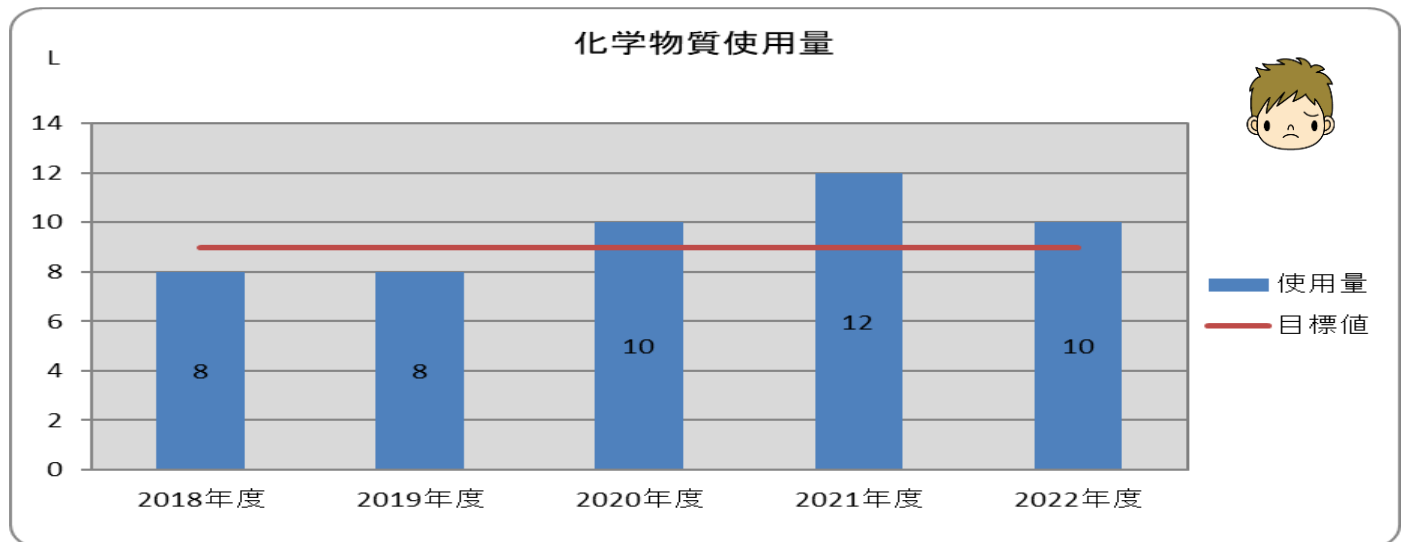
項目	目標値	実績値					2022年結果
		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	対前年比值
非感染性廃棄物 (kg)	104,723	131,531	118,399	105,781	101,130	97,783	▲3.3%



環境目標と実績

■化学物質使用量（アルテフィックス（主原料：グリオキサール 用途：組織固定液）を対象としています。）

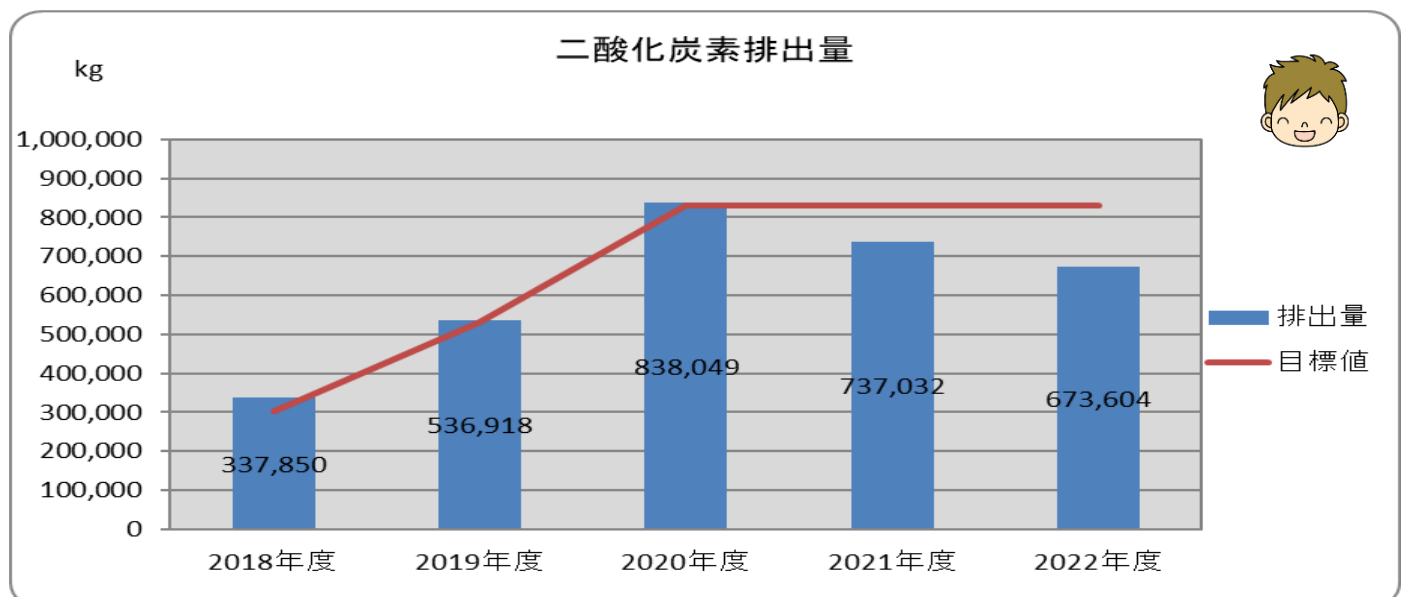
項目	目標値	実績値					2022年結果
		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	対前年比值
化学物質使用量 (L)	9	8	8	10	12	10	▲16.6%



■二酸化炭素排出量（購入電力の実排出係数（エネックス）0.301kg-CO₂/kwh を使用しています。）

（目標値：電気・ガスを季節に応じて適正に使用し、電化製品を入れ替える際は高効率で省エネタイプの物を選定する。）

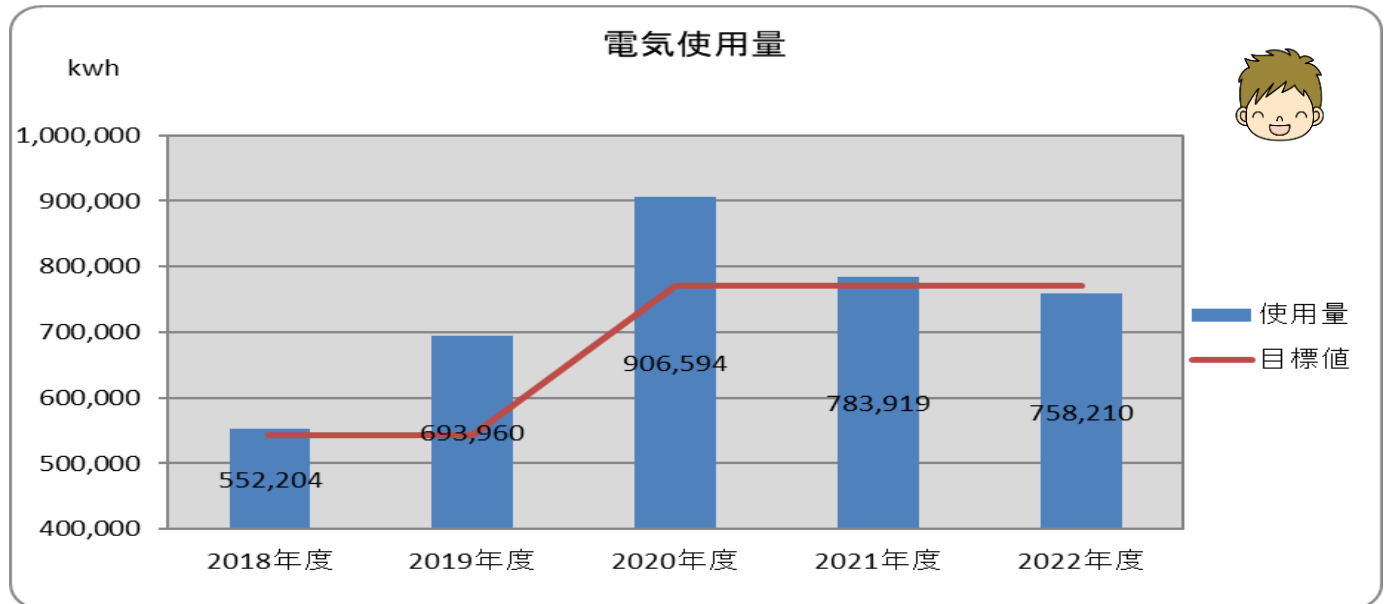
項目	目標値	実績値					2022年結果
		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	対前年比值
二酸化炭素排出量 (kg)	303,622	337,850	536,918	838,049	737,032	673,604	▲8.6%



環境目標と実績

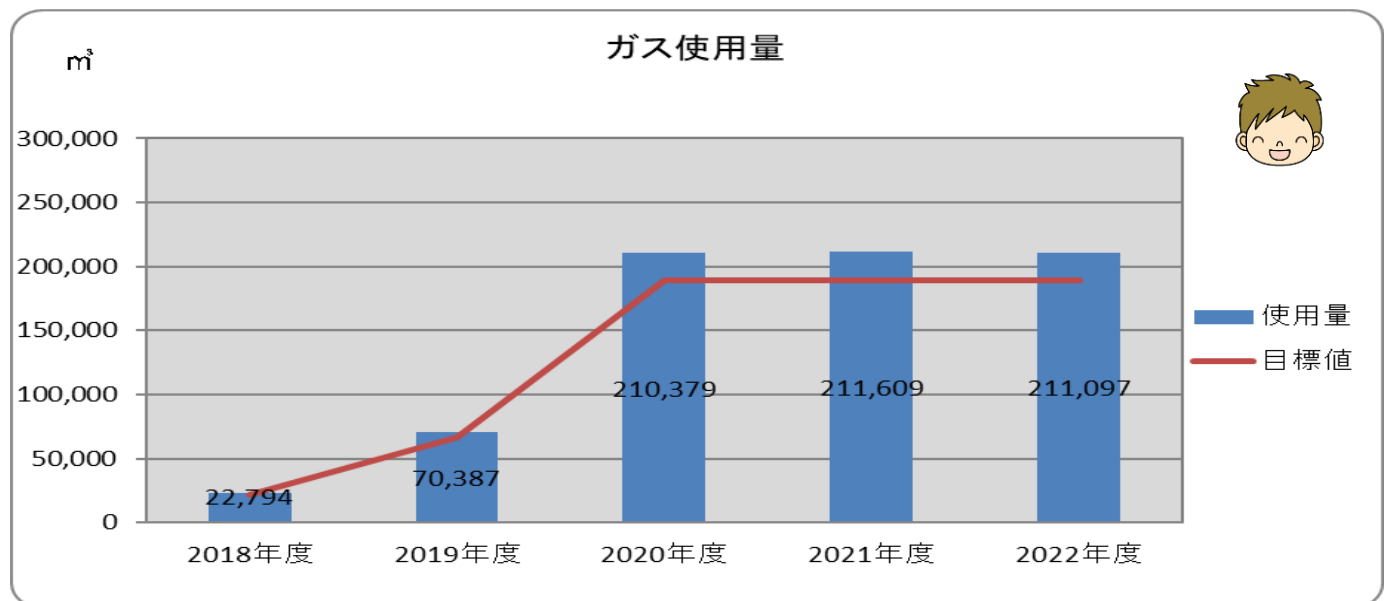
■電気使用量（空調機の適正温度による使用や共有部分の照明消灯で節電に取り組む）

項目	目標値	実績値					2022年結果
		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	対前年比値
電気使用量 (Kwh)	646,706	552,204	693,960	906,594	783,919	758,210	▲3.3%



■ガス使用量（コージェネレーションシステムの運用、クールビズ、ウォームビズの実施）

項目	目標値	実績値					2022年結果
		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	対前年比値
ガス使用量 (m ³)	187,780	22,794	70,387	210,379	211,609	211,097	▲0.2%

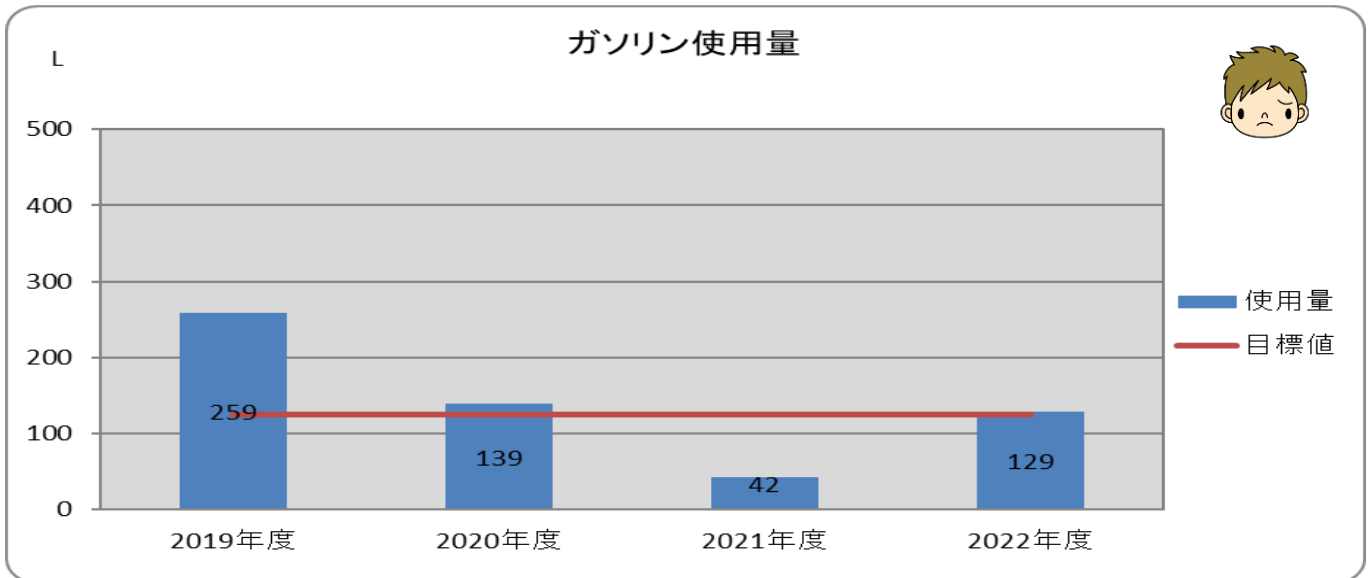


※2020年度移転新築に伴い、コージェネレーションシステムの稼働及び、ガス空調導入により使用量が増加した。

環境目標と実績

■ガソリン使用量 (アイドリングストップを徹底し制限速度を守り、“急”のつく運転をしない)

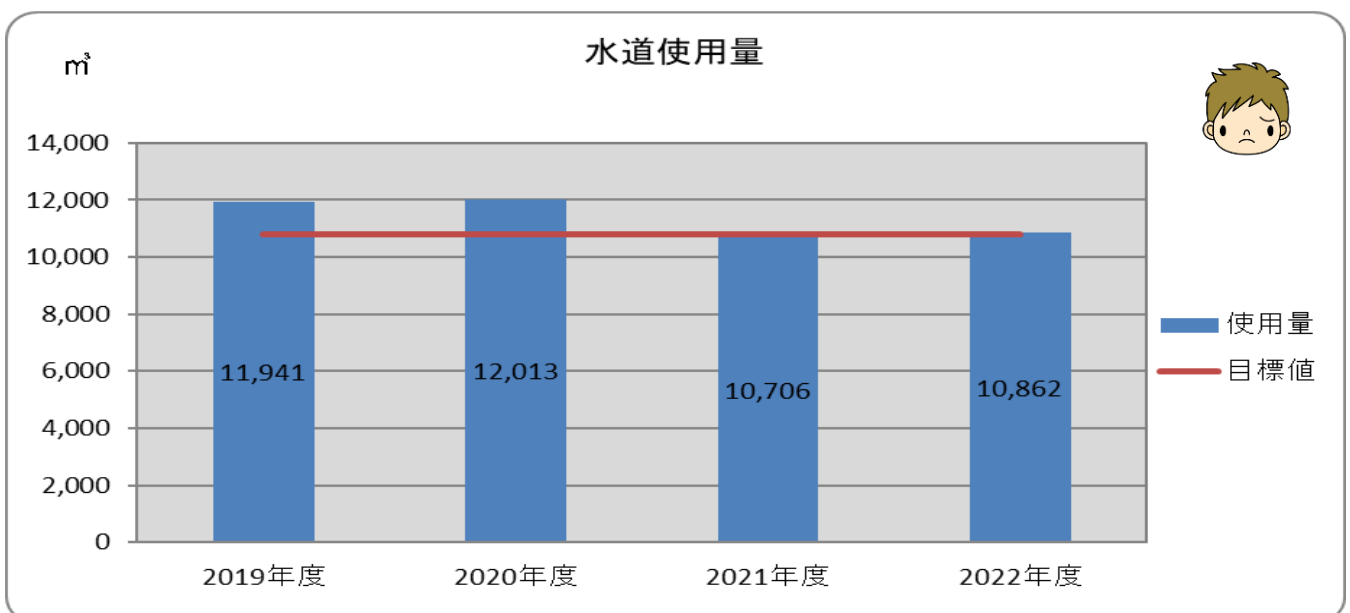
項目	目標値	実績値					2022年結果
		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	対前年比値
ガソリン使用量 (L)	125	252	259	139	42	129	207.1%



2021年度の使用量が少なかった原因は、移転後の車両使用が少なかったことや、新型コロナウイルス感染症による外出自粛によるもの。

■水道使用量 (蛇口をこまめに閉める、溜め水をして流しっぱなしにしない、節水システムの定期的なメンテナンス)

項目	目標値	実績値					2022年結果
		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	対前年比値
水道使用量 (m ³)	10,812	10,465	11,941	12,013	10,706	10,862	1.5%



屋上循環ポンプ故障により、漏水していたことが目標を達成できなかった原因である。

2023 年度以降の取り組み

項目	継続・新規	環境活動計画
省エネルギーの推進 (CO ₂ 削減)	継続	照明区画ごと消灯。(担当者を決めて)
	継続	空調設定温度の適正化。(夏期 27℃、冬期 20℃)
	継続	季節に合わせた換気モード設定。(空調使用时→全熱交換、他季→普通換気)
	継続	フロア毎に電気・ガス・水道使用量の見える化をして適正使用を促す。
	継続	コージェネレーションシステムによる計画的な発電。(ローテーションにより 3 機の内 1 機を停止させ運転時間を抑える)
	継続	太陽光パネルによる発電。(自家消費)
	新規	中央監視による共有フロアの照明間引き。
	継続	空調機の分解洗浄による節電対策。(半フロア毎 1 回/年)
廃棄物の削減 及びリサイクルの推進	継続	固形燃料化を推進するため、紙類・プラ系ゴミの分別を徹底する。
	継続	品質の高いオムツ交換、あて方を考え、実施していく。
	継続	施設・備品などには高品質の製品を使用し長期間使用を可能にする。
	継続	三大合併症による感染性廃棄物量の低減。
	継続	診療材料等の適正使用による廃棄物の減量。
	継続	フードロスの低減。(カット済み食材の採用)
	継続	IT 活用によるペーパーレス化の推進。(会議・打合せ時のタブレット使用)
	継続	プラスチック資源循環。(不要となったクリアファイル回収)
	継続	新型コロナウイルス感染症感染防止。
水道量の削減 (節水)	継続	蛇口はこまめに閉める。
	継続	節水システムの定期的なメンテナンスの実施。(1 回/年)
	継続	井戸水を利用した散水。(植栽への散水利用)
ガス使用量の削減	継続	給湯量、火力の調整を随時行う。(65℃→60℃)
	継続	給湯器の給湯温度の緩和。
	継続	コージェネレーションシステムの排熱利用による給湯。
化学物質使用量の削減	継続	シャンプー・ボディソープの個人持ち。
	継続	洗い場の洗剤種類変更と減量。
その他	継続	事業活動に伴う備品はグリーン購入を行う。
	継続	5S運動の実施。(特に、整理=不用なものを撤去する 整頓=作業しやすいように材料や環境を調える)
	新規	ピークの把握によるピークカット。
	継続	プラスチック容器異物除去。(食品や残渣付着の紙ごみ、金属、ガラス等)
	新規	省エネルギー診断の受診。(4月24日受診)
	新規	日常点検による循環ポンプ不具合の早期発見。

環境関連法規の遵守について

法的義務を受ける主な環境関連法規と遵守評価。

実施日：2023年3月31日

法令等	該当条項	遵守内容	遵守評価
毒物および劇物取締法	第15条2	政令で定める技術上の基準に従い廃棄	適合
下水道法	第44～51条	水質基準以上の排出禁止	適合
廃棄物処理法	第12条	廃棄物の表示・保管管理 廃棄物収集運搬及び処分業者との委託契約 マニフェストの控え（A票）の保存義務 感染性廃棄物の分別・管理	適合
フロン排出抑制法	第3章	特定製品に使用されるフロン類の管理の適正化に係る措置	適合
家電リサイクル法	第6条	家電の長期使用、適正廃棄	適合
消防法	第8、17条	消防設備の定期点検	適合
電気事業法	第42	建物変電設備による電気工作物の点検	適合
建築基準法	第12条	建物・特殊建物・昇降機の定期点検	適合
高圧ガス保安法	第35条2	液体酸素使用による定期点検	適合
水道法	第34条2、3	小規模水道の清掃・点検・水質検査	適合
電離放射線障害防止規則	第54条	放射線漏洩検査	適合
ビル管理法	第4条	害虫駆除の実施	適合
自動車リサイクル法	第5、8条	廃車時における適正処理	適合

以上のとおり遵守確認及び評価の結果、違反はありませんでした。

又、関係当局より違反等の指摘はありません。

代表者による全体評価と見直し結果

代表者による見直しを実施し下表の結果でした。

	項目	見直しの有無	評価コメント
1	環境方針の見直し	有	災害拠点連携病院としての役割を盛り込んだ。
2	環境目標	有	前年度以上に、具体的根拠にもとづく目標値とした。
3	環境活動計画	有	クリアファイルの再利用、空調機の分解洗浄による節電対策に取り組むこととした。
4	環境経営のシステム化	有	環境活動と本業の質向上が連動した経営にしてゆく。
5	全体評価	有	新型コロナウイルス感染症による感染性廃棄物の廃棄量が増加した。現場の活動を主体的・自主的に取り組んでもらうために、関連する委員会と連携して職員の参加意識を高め、改善に向けて対策と実行をくり返し、病院の医療・介護の質向上と健全な経営に繋げていく。